

都市整備

五日市街道喜平橋交差点と周辺道路について

齊藤一夫議員(政和) ①五日市街道における歩道設置事業の進捗状況は。

②関東管区警察学校正門前の改良事業の進捗状況は。

③堀野中通りの歩道を拡幅できないか。

市長 ①平成15年度に事業着手した。現在、用地買収の面積比率が約15%で、竣工は未定と都から聞いている。

②関係機関と交差点の形態等の協議を行っており、完成は平成20年2月末の予定である。

③地権者の協力や財政的課題から難しい状況である。

上水南町地区の声を生かしたまちづくりについて

佐野郁夫議員(政和) ①喜平橋交差点のすいすいプランの進捗状況は。

②あかしあ通りに小平駅までのバス路線を通せないか。

③宅地内の生活道路が抜け道となっていないが対応は。

市長 ①用地買収の面積比率は約69%で、今年度は買収済み箇所

喜平橋交差点



所の歩道整備を実施する予定と都から聞いている。

②バス事業者に対し、既存路線を小平駅まで延伸するよう要望している。

③まちづくり条例制定のための話し合いを通じて、地域の人々と検討していきたい。

都市計画道路の整備を急ぎたい

宮寺賢一議員(政和) ①良好な市街地を形成するためには早急な整備が必要と考えるが、周辺市と類似市の整備率は。

②今後10年間の第三次長期総合計画・前期基本計画における都市計画道路整備に要する総事業費の見込み額と、一般財源の見込み額は。

市長 ①周辺市の整備率はおよそ2割から5割であり、類似市の整備率は多摩市が約8割、府中市が約7割などである。

②総事業費は約19億5千万円、一般財源は約3億5千万円を見込んでいます。

市の公共交通施策の充実について

市の公共交通施策の充実について

滝口幸一議員(フオ) ①大沼町でのコミュニティタクシー運行に向けての現状は。

②コミュニティタクシーを運行する際の留意すべき課題は。

③公共交通の充実に対する市長の意気込みは。

市長 ①アンケート調査等を行ったほか、地域で話し合う場を持つ準備を進めている。

②経営改善の努力が継続する

仕組みをつくることと考える。

③公共交通の事業展開はまちづくり、人づくりであり、どれだけ多くの市民、NPO、団体等と連携、協働できるかにかかっていると考える。

今後の課題について

コミュニティバス・タクシーの今後の課題について

佐藤 充議員(共産) ①にじバスの修繕費等に負担がかかっているように思うが対策は。

②地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が年内に施行される見込みだが、どのように活用する考えか。

③西武多摩湖線のLRT化について、今後の研究は。

市長 ①運行状況と整備状況等を見据え検討していきたい。

②国で同時に整備される地域活性化策と連携しながら、公共交通を整備していきたい。

③現時点では実行困難と聞いているが、まちづくりに生かせるよう情報収集に努めたい。

※LRTとは

車両の低床化などすべての人に使いやすい設計により、従来の路面電車をより高度化した公共交通システムのこと。

交通不便地域に市民の足の確保を

交通不便地域に市民の足の確保を

山岸真知子議員(公明) ①にじバスの試行運行ルートに、小川西町地域が入っていない理由と今後の計画は。

必要があり、高齢化率、人口密度等を考慮して現在のルートに決定した。小川西町地域での試行は考えていない。

②西武バスは事業の採算性から積極的ではないが、引き続き要望していく。

鷹の台駅及び周辺のバリアフリー化について

木村まゆみ議員(共産) ①西武鉄道との協議状況は。

②にじバスなどの鷹の台駅へのアクセスを研究してほしいかどうか。

市長 ①将来の橋上駅による東口対応と、自由通路設置を見込んだ当面の構内バリアフリー化について、さらに現在、駅前から公園を地下でつなぐ中央公園西口通路の改良についても協議している。

②府中街道の交通渋滞がバス運行の定時性に与える影響や、駅周辺にバス等の滞留場所を確保すること等の課題を検討、研究していきたい。

③現時点では実行困難と聞いているが、まちづくりに生かせるよう情報収集に努めたい。

十小通りの安全対策を地域の中心検討会へ

十小通りの安全対策を地域の中心検討会へ

橋本久雄議員(緑ネ) 十小通りは周辺の開発により、危険になっている。今までは個別に対応してきたが、その地域の住民みずから課題を洗い出し、解決方法を検討する仕組みが必要ではないか。

市長 本年3月に策定した都市計画マスタープランの中で、市民や事業者と市が協働のまちづくりを推進する仕組みとして、(仮称)地区計画等提案型まちづくり条例の創設を掲げている。住民みずからが検討する仕組み

については、この中で検討していきたい。

交通網の充実について

交通網の充実について

齋藤貴亮議員(フオ) ①コミュニティバスとコミュニティタクシーの進捗状況は。

②他市のコミュニティバスの乗り入れはできないか。

市長 ①前者は5月に新たなシステムで試行運行を開始した。後者はグループヒアリングなどを行い、地域の人々や地元交通事業者等が話し合う場を持つ準備を進めている。

②連携は有効と考えるが、現在のところ市内の生活交通を充実することに重点を置き事業を進めている。

環境・上下水

環境・上下水

こもればの足湯を小平市として積極的にPRできないか

こもればの足湯を小平市として積極的にPRできないか

藤原哲重議員(フオ) ①利用者の状況は。

②市としてのPR方法は。

③小平グリーンロード活用の一環として、イベント等を考えているか。

市長 ①オープン翌日からの41日間で推計では約2万6千5百人、1日平均約650人との報告を受けている。

②市報等を通じてPRを推進するとともに、今後もあらゆる機会をとらえてPRに努めたい。

③市の物産を販売する定期市を計画している。

地球温暖化を救おう 緑をつくり出す積極策

津本裕子議員(公明) ①市が取り組んできた緑化策は。

②既存の公共施設の緑化の現状と今後の展望は。

③仮称チーム・マイナス6%円卓会議など、関係各部を横断する取り組みを広げる必要があるが見解は。

市長 ①緑の創出施策として生垣造成補助制度がある。

生ごみリサイクルに向け積極的な取り組みを

生ごみリサイクルに向け積極的な取り組みを

岩本博子議員(緑ネ) ①生ごみリサイクルの課題は。

②一時処理物の回収拠点をふやすことが必要では。

③生ごみ処理機の購入拡大に向けた働きかけは。

④学校等での取り組みは。

市長 ①リサイクルシステムの構築と供給ルートの拡大である。

②課題もあり、研究したい。

③生ごみ堆肥講習会や市報等でPRを行っている。

麻しん等感染症発生時の集団感染拡大防止の備えについて

虹川 浩議員(公明) ①市民の不安を解消するため、予防策や対応をホームページなどに掲載できないか。

②集団感染を食い止めるため、事前に手順やシミュレーションなどの準備が必要では。

市長 ①ホームページの活用は有効な手段であり、今回の麻しんの流行についても情報を掲載した。今後も正確かつ迅速な情報提供に努めたい。

②関係各課、保健所、医療機関、消防署の連携が平常時から重要であり、シミュレーション等の準備も念頭に置いて強化を図っていく。

公立昭和病院での女性専門外来開設要望のその後について

公立昭和病院での女性専門外来開設要望のその後について

宮寺賢一議員(政和) ①多摩地区の設置状況は。

②実施後の課題は。

③施設面のスペースの確保は。

④必要性の認識は。

市長 ①町田市民病院、青梅市立総合病院、都立府中病院の3か所に設置されている。

②年齢や経験などの要件を満たす女医を継続的に配置するのは難しく、収支面についても採算が合わないと聞いている。

③平成21年度の本館改修工事等で整備する予定と聞いている。

④昭和病院も市も必要性の認識に変化はない。

妊婦無料健診の拡充について

山岸真知子議員(公明) ①無料健診を5回にふやした場合と、望ましいとされる14回にふやした場合の予算額は。

市長 ①国が5回程度の公費負担を原則と示したことで、都は検討会を立ち上げた。市はこの動向を注視しながら検討したい。

②妊娠前期と後期の各1回分を負担しており、当初予算で約2千71万円を計上している。

③5回で約4千5百万円、14回では約1億千7百万円かかる。

がん対策の推進で命を守りたい

がん対策の推進で命を守りたい

立花隆一議員(公明) ①都が策定するがん対策推進基本計画に基づく施策の検討は。

②在宅医療等ががん対策を実践している医療機関や医師会との連携は。

③健康センター等ががん総合相談所を設置できないか。

市長 ①予防対策として生活習慣等が健康に及ぼす影響などについて市民に啓発するほか、各種検診の受診率向上などに取り組んでいきたい。